



# 恒例! 「減ちゃんのごみ分別相談所」 ペットボトル、古紙類排出時の 注意事項について



生活環境課 ごみ減量推進係

皆さん、こんにちは！あるいはこんばんは！今回は、ペットボトルと古紙類の正しい出し方についてだよ！  
まずペットボトルは、集積所の専用ネットに出してもらっているけど、キャップとラベルが付いたまま入っていることがあるんだ。

**キャップとラベルは、プラスチック製容器包装だから、  
指定袋（透明・緑文字）に入れてね。**



◀キャップとラベルは分別して緑色の指定袋へ入れよう！

次に、古紙類についてだけど、縛るときにビニールひも・麻ひも等を使う人が多く、収集作業員が困っているんだ。  
紙ひも以外はリサイクルできないから、その都度ひもを除去しなければならず、収集に時間が掛かってしまうんだ。

新聞紙、雑誌・雑がみ、段ボール、紙パック等の種類ごとに **紙ひもで縛って**、集積所に出してね。

紙ひもだったら、古紙類と一緒にリサイクルできるから、収集がスムーズになるよ。

もうすぐ夏！！今年も猛暑かな？？炎天下でも、ごみを収集する作業員のためにも、ずくを出して正しい排出に協力してね。詳しい内容は、ごみ・資源収集カレンダーの13・14・16ページに書いてあるから確認してね。



◀ビニール紐の場合は作業員さんが一つ一つ切って収集しているんだよ。効率的な収集のためにも協力してね！

## 「ゼロカーボンシティこもろ」を目指して⑤



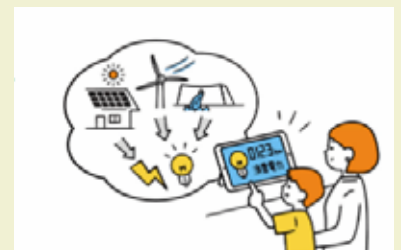
小諸市では、2050年までに「ゼロカーボンシティ（二酸化炭素排出量実質ゼロ）」を目指しております。日本の二酸化炭素排出量の約6割が衣食住を中心とするライフスタイルに起因しています。そのため、ゼロカーボンの達成には一人ひとりの意識と行動変容が大切です。日常生活でできる“脱炭素”につながる取組みを紹介します！



生活環境課 生活環境係

### 消費エネルギーを見える化しよう

近年は家電製品の性能の向上により省エネルギー型の製品が多く登場し、家庭に導入されているものの、家庭のエネルギー消費自体は増えています。補助制度を活用し、省エネ性能の高い家電製品への買換えなどで、節電や電力等のエネルギー削減につなげることはもちろんですが、家庭内での電力等の使用状況や料金を“見える化”することで、どうすれば節電や節約につながるかといった効率的エネルギーの使い方に取組むことができます。



### 家庭でできる消費エネルギーの見える化

手軽な取り組みとしては、電力会社の検針票を確認し、電気料金と電気使用量を数字として把握することです。電気料金と電気使用量を記録しておくと、前月・前年との比較が可能で、「何が原因で電気代が上がったのか」という推測ができ、具体的な対策へとつなげることができます。また、凍結防止用ヒーター等の切り忘れといった気づきにもつながります。家庭での消費エネルギーは、ちょっとした生活の変化によって影響を受けます。まずは、身近な電気の使用量を“見える化”することから始めてみてはいかがでしょうか。